

鳳来北西部 地域意見交換会

地域	番号	テーマ	参加者からの意見、提言内容	回答等
鳳来北西部	1	【地域の防災対策と避難所の運営について】	玖老勢(中葛)の慶昌寺沢は、山際に小さな2つの堰堤がありますが、土砂でいっぱいです。集中豪雨があれば土砂・流木をせき止めることができません。そのため平成30年度に新城設楽農林水産事務所林務課から「予防治山」工事の計画が示されました。既設の堰堤の上流に2つ・・・4型(谷止工)・5型(床固工)のコンクリート堰堤を建設です。地元では地権者の同意を得ており、令和元年9月24日官報にて「字中屋52～54、字落貝津32～34、字村上1の3」が保安林に指定されました。この工事のため立木の伐採時期や堰堤建設計画の進捗状況を聞かせて下さい。	治山工事の予定について愛知県新城林務課治山担当に確認したところ、令和3年度事業として実施できる様、措置済みとのことです。また、実際の現地着手は事務的な処理を踏まえ、6月以降になるとのことでした。(産業振興部長)
鳳来北西部	2	【地域の防災対策と避難所の運営について】	コロナ禍の中で密を避けた避難所の参考となるレイアウトはありますか。備品などこまで(質)、どれだけ(量)保管するのか指針をいただきたいです。	市では「避難所における新型コロナウイルス感染拡大防止のための対処方針」を作成し、避難所レイアウト図を掲載しております。必要と思われる資機材についても掲載していますので、必要があれば提供することが可能です。なお、今後市のホームページでも掲載していきます。 指定避難所における備品等について、特に食料、飲料水、トイレについては、毎年、計画的に必要な数量を整備しています。(必要があれば、食料等の備蓄計画について提供することも可能です。)また、コロナ禍における避難所の資機材についても整備していますので、要望があれば提供は可能です。 しかし、過去に発生した災害でも市が保有する備蓄品はあつという間になくなっていきます。このことから、各家庭において、最低3日分×人数分×必要物品について準備しておくことをお願いします。併せて、戸別受信機のための乾電池の備蓄もお願いします。(総務部長)
鳳来北西部	3	【地域の防災対策と避難所の運営について】	コミュニティプラザのような避難所への避難が必要となった場合、感染を防ぐため密を避ける避難所のレイアウト、寒い時期での換気の仕方について参考となるものがあれば教えて欲しい。災害時、避難所へは飲料水とか食料・簡易トイレなどの配給はありますか。	市では、「避難所における新型コロナウイルス感染拡大防止のための対処方針」において、避難所レイアウト図、換気について掲載していますので、参考にしてください。必要があれば提供することも可能です。なお、今後市のホームページでも掲載していきます。台風の接近による避難所開設においては、避難所へ各自、食料・水など必要な物をもって避難してくださいと防災行政無線で案内しています。しかし、大規模な災害(長期に渡る避難所生活)の場合には、飲料水や、食料・簡易トイレなどは市から配給をしますが、数に限りがありますので各個人でも食料・水の備蓄は最低3日、できれば1週間の備蓄をお願いします。(総務部長)
鳳来北西部	4	【地域の防災対策と避難所の運営について】	・防災対策としては、以前に行った調査の説明(結果)があり、各自で身を守る行動を取るよにという事で周知しているが現地の対応については進行していないが今後の予定はどうか。 ・避難所について、コロナを含めて対応備品の供給はどこまで考えているのか。 ・防災無線の移動又は増設はできるのか。	「以前に行った調査の説明(結果)」とありますが、これが何を指しているのかはつきりわかりませんが、土砂災害防止法第4条に規定する都道府県が行う基礎調査のことでしょうか。愛知県新城設楽建設事務所が地権者に対して調査結果を説明しているものではないかと思うのですが、この件のことであれば、現地対応の進捗状況については、愛知県新城設楽建設事務所を確認をお願いしたいと思います。 避難所におけるコロナ対策ですが、避難所入口において、体温計測、問診票の記入、手指消毒をしていただくとともに、マスクをされていない方にはマスクを入口で配布します。避難所の中では、2m×2mを一区画とし、隣との距離を1m～2m離して過ごしていただきます。また、局地的な大災害があり、避難所生活が長引くような場合は、段ボールベッド、防災テント、間仕切り、三つ折り畳、エアーマットなどを供給します。 戸別受信機の移動、増設は可能です。詳しいことは、防災対策課へ問い合わせてください。また、2台目以降の増設は、基本的には負担金50,000円が必要になります。(総務部長)
鳳来北西部	5	【地域の防災対策と避難所の運営について】	一昨年台風倒木被害により、山間部は4日間も停電しました。この時、携帯基地局や防災無線もバッテリーが1日程度で切れ、使い物になりませんでした。道路も崖崩れ、風倒木で通行止めが続き、幸い何事もなかったのが助かりましたが、急病人等がでた時の連絡方法がつかないことが予想されます。こうした時、最後の手段としてアマチュア無線の活用はいかがなものでしょうか。	通信手段が途絶えた場合には、アマチュア無線は有効なツールであると思います。市防災ボランティアの会にもアマチュア無線を活用できる人たちがいますので、最悪の場合は、そうした方たちと協力しながら、連絡・情報を取り合う必要があるような状況もあるかと考えています。(総務部長)
鳳来北西部	6	【地域の防災対策と避難所の運営について】	当副川区は避難所となる「玖老勢コミュニティプラザ」または「海老構造改善センター」からは両所の中間位置にあたる。そこに向かうには相当の距離がある(2km強)。若年者はともかく高齢者層にとって徒歩では困難である。基本的には避難は自己努力・自己責任となるが、自動車等での避難が不可能な世帯に対して、どのような避難方法が適切と考えているか。	確かに高齢者世帯や車を持っておられない世帯もあるかもしれません。昔から言われるように、向こう三軒両隣であるので、平常時からの声掛けや、交流を深めておいていただき、災害時避難が必要な場合には、ぜひ声をかけあつて、必要があれば車をお持ちの方が避難所まで同乗して行っていただきたいと考えます。 また、災害時に手助けが必要な世帯については希望者について福祉課から災害時要援護者名簿を作成し、区長さん等にお渡ししてあります。ぜひ自主防災会において平常時から、災害時に助ける人、助けられる人を決めておいていただくといいかと思います。(総務部長)
鳳来北西部	7	【地域の防災対策と避難所の運営について】	一人暮らしの状況把握、細かな検討が必要です(健康状況・体力・隣近所)。	ひとり暮らしの方であつて、災害時要援護者情報登録申請をいただいた方の情報は、自主防災組織、民生委員、消防団などで共有していますので、各地区において災害時に活用いただきたいと思います。(総務部長)
鳳来北西部	8	【地域の防災対策と避難所の運営について】	高齢化になっている地域の中で避難するのも大変です。 1避難所は近くであること 2前もって連絡を取り合い、自力で動けるか、手助けがいるのか、事前に知っておくことが必要でしょう 3避難に必要な持ち物も知らせて常に準備しておくことを知らせる	避難所は、必ずしも自宅から近くにあるものばかりではありません。従いまして、台風が近づいている場合には、早め早めの避難を防災行政無線を通じてお願いしているところです。しかしながら、自力で動くことができない方や手助けの必要な方がいるのも事実です。このような方に対しては、自主防災組織、民生委員、消防団などを中心に、助けられる人と助ける人を事前に決めておくなどの共助が重要です。是非、自主防災組織等を中心に動けない人をどう避難させるかを地域で議論していただきたいと思います。また、災害時要援護者名簿も配布をさせていただいておりますので、活用くださるようお願いいたします。 なお、避難に必要な持ち物については、広報を通じて周知をしていますが、引き続き、広報してまいります。(総務部長)



## 鳳来北西部 地域意見交換会

地域	番号	テーマ	参加者からの意見、提言内容	回答等
鳳来北西部	9	【地域の防災対策と避難所の運営について】	防災対策に関しては、毎月の組長会に出席し一口メモぐらいでお話をさせていただいている。玖老勢、副川の2地区で、今の所5名の防災専門員を選出し、1年を通して何か災害などが起きた場合は出勤が出来るようにしている。特に9月～10月に行われる防災訓練日には、防災会長(区長)と連携を取りながら行っている。避難所の件ですが、指定されている玖老勢コミュニティプラザ、鳳来寺小学校は立地条件が良くないのすがいかがでしょうか。	引き続き、一口メモなどのお話を継続していただき、災害に対する意識高揚を図っていただきたいと思います。鳳来寺小学校、玖老勢コミュニティプラザについては、マップあいちの土砂災害情報マップで見える限りでは土砂災害等の危険度が高いという立地ではないと認識しています。(総務部長)
鳳来北西部	10	【地域の防災対策と避難所の運営について】	気象災害による被害も年々酷くなっているように感じています。特に人命に関わるほど深刻な状況が日本各地で起こっています。幸いなことに今まで、この地区ではそこまで甚大な被害には至っていませんが、今後のことはわかりません。海老地区では海老小学校が廃校になってから、海老構造改善センターが避難場所として主になっていますが、元々小学校がメインであったことから中途半端になっています。避難勧告が発動されても、構造改善センターに実際に避難してくる人はほとんどいません。役所からも構造改善センターには人がやってきますが小学校には誰もいません。小学校の体育館の鍵の所在すら誰に聞けば良いのかも不明確になっています。危機意識はなきに等しいです。明確に災害時はどうすべきか住民に伝える必要があります。海老地区の住民の多くは小学校の方が足の便は良いです。しかし、設備は構造改善センターの方が整っている、という矛盾した現実があります。海老川の東側に生活している数は多く、海老川を越えて避難するのは決して合理的とは言えません。また、海老の人口は少なくとも広い地域の住民をカバーするには避難箇所が2カ所あっても良いと思いますし、今年のようなコロナの状況を考えてもメインとサブという考え方は今後も役立つと思います。さらに地震などで壊滅的な被害が起こったときには、広域的な避難場所としても活用できます。「廃校跡地活用」とも関連しますが、小学校の跡地にも生活できる空間を維持しておくことを考えた方が防災対策としても機動性は高いと考えます。地震においては家屋の外の広い駐車場(学校のグラウンド)も有効だと思います。その場合、テントは不可欠です。	海老地区における指定避難所は、旧海老小学校及び海老構造改善センターの2箇所があります。最近では、大雨や台風による避難勧告等を発令した場合において、海老構造改善センターを避難所として開設してきました。これは、旧海老小学校よりも海老構造改善センターの方が施設環境が良く、避難者にとって過ごしやすい環境が整っているために旧海老小学校より優先して開設しているものです。もちろん、海老構造改善センターで避難者を収容できなくなった場合には、旧海老小学校も避難所として開設することになります。これまでも避難所を開設する場合には、防災行政無線を通じて広報しており、早め早めの避難を呼びかけております。今後、その方針を変えることなく早めの避難行動がとれるよう広報、案内してまいります。 また、旧海老小学校の方が地域住民の方々にとって避難しやすく、小学校を優先して開いてほしいということであれば、今後は、旧海老小学校を優先して開設することも可能です。南海トラフ地震のような大規模災害に見舞われた場合においては、おそらくですが2箇所の避難所を開設することになるだろうと考えています。  ◎旧海老小学校の鍵の管理は？ 廃校の学校は防災対策課でカギを扱っており、避難所担当者が持って開設に行くことになっています。また、学校開放のため、地域のスポーツ団体にも貸し出してあるそうです。ご指摘の通り、地域に災害用として鍵の貸し出しはしておりませんでしたので、教育委員会と相談をし、災害時用として地域にも預かっていただけるよう調整したいと思います。(総務部長)
鳳来北西部	11	【地域の防災対策と避難所の運営について】 【廃校跡地活用について】	連谷地区には、災害の発生時や大雨時の避難所がありません。「市」では海老構造改善センター、玖老勢コミュニティセンターに行く様に指示が出ますが高齢者にとっては無理であり危険な事です。連谷地区にも避難所になり得る施設を作って頂きたい。廃校である旧連谷小学校、連谷会館、連谷保育園の場所にできれば新設、新設が無理なら改修をして避難所として機能する施設を作って頂きたい。その場合、新城市内と市外地と同じ考え方では困ります。昨年の連谷の両区長の方から市に対して「廃校跡地利用について」要望書を同じ様な内容で上げた所相手にされず、施設を作るのなら「補助は出すが地区で考える様に」との回答でした。百万単位のお金を集めないで避難所を建設するのは無理です。高齢者の多い連谷地区から出せる訳がないと思います。ましてや人口が減ってきているのですから無理な話です。市内の地区なら人口も多く、若くて働いている方々も多いと思います。それを同じ物差しで測るのはいかがな物でしょうか？格差ができるばかりです。テーマとは、話がズレますが、「市・行政」の考え方だと思うのですが、人口の多い地区と少ない地区、交通の便の良い地区と不便な地区、税収の多い地区と少ない地区、病院へ歩いて行ける地区と公共交通のない地区、それらを全て同じ物差しで測るのはいかがな物でしょうか？だから、地域自治区制度を作った？？？「地域自治区制度」良い面もありますが不公平極まりないと思います。二重行政の典型です。弁の立つ人が多くいる地区、名士と言われる人の多くいる地区、行政に精通している人の多くいる地区が自治区予算を多くもっていきます。例えば70歳を越えた人しかいない地区に(パソコンで)文章を作って持ってくる様に言っても無理でしょう。そんな事をしなければ自治区の予算を回してもらえない。？？？？格差が広がるだけではないでしょうか？話をもどして鳳来北西部でいうと鳳来西小学校の跡地と連谷小学校の跡地に避難所を作るのが廃校跡地利用という点からも避難所という点からもいいと思うのですが？小学校という地区の拠点がなくなり、住民が高齢化して行く中で無駄な事だと「市」は考えるかもしれませんが新城市の一番外れでも新城市の住民です。外れの住民にとって15年前の町村合併で何もいいことはなかったのかも。	大規模地震に見舞われ、建物が無事であれば、おそらく旧連谷小学校体育館を避難所として開設することと思います。しかし、近年の大雨、台風接近に伴う避難所は、海老構造改善センターを開設していますので、避難所まで遠くて高齢者等が避難できないという声も聞きますが、自主防災組織等において助けられる人、助ける人を決めておく等、地域での共助について議論していただきたいと思います。(総務部長)  現避難所については適切な維持管理に努めてまいります。新たに行政目的をもった施設を整備する予定はございません。(総務部長)  令和2年2月に連合区長 長谷川 諭様、四谷区長 村雲 伸一様に次のように回答させていただきました。『連谷会館、旧連谷保育園、旧連谷小学校(体育館、プール)におきましては、施設の老朽化も進んでいることから、取壊しを検討することは可能です。しかし、代替え施設として、新たに市が公共施設(行政用途が明確な施設)を整備する予定は現時点ではありません。地域の集会施設(公民館や多目的集会施設等)として新たに施設整備をするのであれば、「新城市地域集会施設整備費補助金」を活用いただき、地域が主体となって整備いただくことは可能です。市の指定避難所は、現在は公共施設を指定しておりますが、地域の状況により集会施設等を指定避難所とすることは可能です。旧連谷小学校グラウンドにつきましては、グラウンド内に個人所有地が含まれていることから、今後の課題としての整理は必要ですが、市有地に関しましては地域が公共的な目的で使用される場合は、無償貸与により地域で管理していただくこととなります。市では公共施設等総合管理計画に基づき、基本方針である「公共施設の再編による総量圧縮と機能向上」、「公共施設の長寿命化によるコスト削減」、「資産としての有効活用」の3つの柱のもと公共施設のあり方を検討しております。今後は、基本方針に沿って課題を整理し、地域にとって必要な公共施設のあり方について協議を行って参りたいと考えております。』⇒ この3月11日に資産管理室が地域と協議を行う予定となっています。(鳳来総合支所長)
鳳来北西部	12	【廃校跡地活用について】	まずは廃としないよう維持管理をお願いします。妙案が見つかるまで焦らないで考えましょう。	現在、変電設備、浄化槽等の保守点検や草刈りを年2回行っています。引き続き適正な維持管理に努めてまいります。(教育部長)  利活用方法が決まるまでは、適切な維持管理に努めてまいります。(総務部長)
鳳来北西部	13	【廃校跡地活用について】	校舎はどのように考えるか？跡地だけの問題か？どの学校か？旧鳳来寺小はグラウンドに使用している。	学校跡地については、地元が使う要望があれば優先的に考えます。要望がなければ基本的に除却や売却を含めた検討となります。(総務部長)



鳳来北西部 地域意見交換会

地域	番号	テーマ	参加者からの意見、提言内容	回答等
鳳来北西部	14	【廃校跡地活用について】	廃校跡地活用について、地域でどう思っているか？今後地域で考えても変わらないと思う。もし利用方法があれば今実行しないともう無い。例えば今は、地域の子供も遠くへ行けない。市内の子供、市外の子供にキャンプなど体験場に利用してはどうか。	地域の理解が得られれば、地元の意見や民間企業のアイデアも取り入れながら、利活用方法を協議させていただきます。(総務部長)
鳳来北西部	15	【廃校跡地活用について】	地元の鳳来寺小学校(3校合併)がありますが、昔は鳳来小学校(町立)の廃校跡地に矢崎部品が借地として入り、その後、撤退し更地になり、地元で維持してきましたが何分にも大変でした。今年度は鳳来寺小学校のグラウンドを借りていた地元の「グラウンドゴルフ愛好会」のメンバーが草取り整地をし、綺麗に維持をしてくれています。少々先行きが心配です。何か他に手段があればお聞かせください。(例 市営住宅、こども園の広場、動物広場)	土地については、地元の財産管理会と無償の貸借契約により引渡してありますので、管理につきましても財産管理会にお任せしています。(総務部長)  旧鳳来小学校跡地(矢崎部品跡地)は、市から玖老勢区に区民広場として無償でお貸ししています。草刈り等の維持管理につきましては、玖老勢区でお願いします。(鳳来・地域課)
鳳来北西部	16	【廃校跡地活用について】	・(旧海老小学校)体育館・グラウンドの使用継続について要望している(運動公園的な位置付け) ・本館の建物については地域の歴史的な文書・備品生活道具等の保管や展示等に利用できないか。管理人を置く必要があるか。 ・企業等が入る場合は地元区民へのメリットがないと難しい。	体育館・グラウンドについては、利活用が決まるまでは、スポーツ開放施設として利用いただけます。(教育部長)  旧学校施設については、市で建物の保全・修繕を行うことは難しい中での利用となることをご承知願います。民間企業等から利活用のアイデアがあればその都度協議させていただき、地域の理解を求めてまいります。(総務部長)
鳳来北西部	17	【廃校跡地活用について】	・新城市の市庁も完成して、鳳来支庁の改築が始まります。新しく建築することは未来に向けて良い事と歓迎いたします。しかしながら、小学校は統合が進み、その校舎は放置されています。母校がなくなり、校舎も朽ちて行くことは卒業生にとっては何とかならないのか、という気持ちが強いです。旧鳳来町には多くの有形、無形の文化財が存在しておりましたが、現在は地元の人ですらその存在自体すら知らない世代が増えています。特に江戸時代の海老地区の発展はめざましく、宿場町として大変に栄えた街です。「山湊馬浪」にも取り上げられている程です。およそ200年が経過して、その当時の文献や古文書、さらには古記録などが消えゆく時期となっております。現状、個人所蔵の文化財はまさに今、保存しておかなければ未来に禍根を残します。これらのものは新城市の文化財であり、貴重な財産です。国の重要無形民俗文化財の黒沢田楽も現状では絶えてしまったと同然です。玖老勢のやまびこの丘の伝承館、田楽館に至っては倉庫同然です。どこに何が存在するのかその情報の一元化が早急に望まれます。海老小学校跡を新城市の文化財の拠点にして欲しいと提言します。運営や作業は地元住民と新城市が共同で行っていくべきだと考えます。まずは現在、教室の一部に鳳来北西部からメンバーを募り、新城市の教育委員会、有識者などで協議会を立ち上げ、文化財データベースを作成、さらに、現物を保管維持していく方法の検討、あらたな史料の発掘などを行う。将来的には郷土図書館のような形態にして、個人や大学の研究者へも情報提供を行う。一般の人々にも開放し、定期的な展示会などの企画も行う。愛知県、新城市の小中学校の歴史の勉強にも役立て、戦国時代から近代の歴史を学んでもらい、新城の歴史を発信する要所とする。これらは海老に固執する必要はなく、愛郷や四谷でも可能ですが、駐車場(運動場)の広さ、建物の劣化が比較的少ない、人員の確保が期待できる、等々実現性ももっとも高いと考えられる。	学校跡地の利活用要望はありがたくお受けしますし、文化財の伝承も理解できる場所です。しかしながら、市が新たに財源措置を行い整備することは難しいと考えます。(総務部長)  設楽原歴史資料館や長篠城址史跡保存館の収蔵庫は慢性的な過密状態となっております。そのため、寄付等の申し出もなかにはお断りをしたり、収蔵品の整理に努めながら、新たな史料の収蔵にやっとの思いで取り組んでいるのが現状です。また、鳳来総合支所、旧レストハウス、青年の家、旧菅守小学校などの空き部屋を利用しながら、各種史料を市内に点在して保管しています。今後も収集が必要となる史料の増加が見込まれ、それらを把握し適切に保存管理していくためにも収集資料の一元管理も課題として認識しています。近年、文化財の保存のみならず観光活用などへの取り組みが重要視されておりますので、今後の方針を検討していきます。(教育部長)
鳳来北西部	18	地域活性化について	地域活性化のため、企業を誘致する方法論があります。反対はしませんが賛同もいたしかねます。地元の自然や環境を活用して新しい産業を起業していく方が時間と手間はかかるでしょうが、将来を見据えた時には有用性が高いと考えます。よく田舎では「仕事がないから」を理由にするいい方がありますが、仕事は自ら起こしていくものです。例えば、交通手段がなくなるなら、買い物、通院のため、住民のためのタクシーを始めることも可能です。定年退職し、年金生活に入った方の生きがいとして運転できる人が運転できない人を支える仕組み。足の手段がなくなったとき、住民たちで助け合う仕組み作り、ネットによる生活必需品の共同購入のシステムなど、町に出かけなくても充実した生活の送れる地域作りなどなど。各集落の集会場などを活用して、ネットワークを構築することも実現可能ではないでしょうか。一人暮らしの人同士が支え合うこともできるはずで、誰にも得意なこと不得手なことがあるので、それを結びつけていくのが行政の役割であってほしい。それに住民たちが積極的に取り組むことが最重要であると考えます。	地域活性化のために思いを持った方たちが活躍できる環境を整えることは広い意味での公助であり、少子高齢化・過疎化が進む地域で安心して暮らし続けていくためには大変重要なことであると考えます。例えば、山吉田地区では、住民の皆さんから通院や買い物の移動で困っている自分たちの地域の方のために助け合い(共助)により解決したいと市に相談があり、数年にわたり市との協議を重ね、様々な法規制等をクリアし、住民の皆さんが主体の運営組織を立ち上げ、地域住民が地域住民のために予約受付と運転を行う住民タクシー(デマンド乗合運行)を始めました。地域協議会においても、地域の課題に対する解決方法を議論し、市(担当部署)へ提案し解決方法を模索していくことが可能です。いずれにしても住民の皆さんが地域の課題を自分事として考え、解決方法の検討や解決策の実施に積極的に関わっていただくことが重要となりますので、市と住民の皆さんと地域課題解決に向け思いを持った地域の方々と行政がしっかりと協議できる場を設けていきたいと考えています。(企画部長)
鳳来北西部	19	お役について	人口減少、高齢化の中で、行政が行っている事はどんどん増している。特にお役の多さに大きな負担があり、大きな集落と小さい集落で同じ様に考えては小さい集落が行き詰まっていく。今後どうして行くか？	行政区は、住民による最も身近な地域自治組織として長い歴史の中で、区域内のまちづくりについて、自主的な運営が進められてきているものであります。地域自治区制度が施行されて以降、地域自らが行政区のあり方を考えたり、また他地域と相談ができるようになり、行政区の統合についての意見も伺っているところであります。今後、地域が統合等見直しに向け一歩踏み出される場合には、それに対する相談や支援を行って参りたいと考えております。(企画部長)

鳳来北西部 地域意見交換会

地域	番号	テーマ	参加者からの意見、提言内容	回答等
鳳来北西部	20	草刈りの費用保証について	過疎化に伴い、山間部に入ると草が生い茂った荒地が目につくようになりました。一部地域では集落全員で行う公共の土地の草刈には、金銭的な保証がされることもあります。個人の土地、例えば手入れされていない農地、あぜ道や林道路側帯等の草刈をした場合、環境美化に貢献するわけなので燃料費くらいの保証をしてもいいのではないかと思います。市として考えはありますか。	他地域では、個人の土地について、住民による草刈り隊を結成し、草刈りの要望のあった方から報酬をもらい草刈りを行う制度の検討を行っているところもあります。今後、管理されていない個人地は増加すると思われ、こういった対応も考える必要があると考えています。(企画部長)  農地: 手入れされていない農地の草刈りについて、土地は本来地権者自身が管理するべきものなので、そういった個人所有地を草刈りするための燃料費の支給については困難です。 ただ、国県の補助事業に「中山間地域等直接支払制度」や「多面的機能支払交付金制度」という事業があり、これは集落として農地や農道、水路等を維持管理すればその面積に応じて補助金が交付されるという制度です。事業に参加するためには要件を満たす必要があり、参加にあたっては、集落のなかでいろいろ決めなくてはならないことや、農業者の方たちが負わなければならない義務も発生します。 補助事業等は要件を満たせるかどうかもあるので、そういったことを含めて、一度農業課にご相談ください。(産業振興部長)  林道: 林道沿いの草刈等の維持管理作業には燃料支給いたしますので、申請書により申請をお願いします。(申請書は森林課にあります。)(産業振興部長)
鳳来北西部	21	耕作放棄地について	高齢化に伴い小規模農地の放棄が続いております。この様な農地の取扱いなどにつきまして、市としての方向性や方針はありますでしょうか。	営農条件の良くない小規模農地の荒廃化の増加については、市としても対応に苦慮しております。 市としては、この人口減少時代では、これまでのようにすべての農地を土地所有者や地域それぞれで守っていくことはなかなか困難であると考えています。そのため、今後真に守るべき農地をゾーニングし、そのエリアから耕作放棄地を出さない、あるいはそのエリア内に存在する耕作放棄地を解消する方策を、地域と共に話し合っていくことが重要だと考えています。 国県の補助事業を活用し地域の課題として補助金の交付を受けながら地域全体で維持管理するか。また、土地改良事業に参加して農地を大区画化し、営農の条件を良くすることに取り組むか。地域内や近隣地域に大規模に農業に取り組んでいる担い手がいるなら、その農業者に土地を借りてもらうようにできるか。これらは一例で、それぞれ検討しなければいけない課題がありますが、そういったことをみなさんと一緒に考えていきたいと思えます。(産業振興部長)
鳳来北西部	22	道路整備について	鳳来寺小学校への4小学校統合の際に要望事項として出された主要地方道鳳来東栄線から校門への進入路の拡幅は進んでいないように見えます。狭いため感応式信号機は車の進入・進出に関係なく反応します。また、スクールバスで幅員は一杯で、歩行する児童との接触が心配されます。是非、校門まで2車線分に拡幅をお願いします。さらに、統合時の要望の一つでしたが、道路から見える開放された小学校にするために、バス停付近から校舎までの立木の伐採はできないのでしょうか。高木に囲まれて隠れたような校舎は、防犯の面からも不安です。	県道から学校への進入路及び周辺の整備については、令和元年度に用地取得を完了し、今年度は設計や関係機関と調整を進めているところであり、令和3年度に事業に着手する計画をしています。(教育部長)
鳳来北西部	23	職員の資質について	以前、市長宛にメールしたのですが、「新城市職員」の質を上げてください。 ・電話対応のひどさ ・対面した時の言葉遣いのひどさ 全員とはいいいませんが、レベルが他の市役所職員と比べてひどいと思います。 公務員は、プライベートでも公務員だと思います。「国民(市民)の公僕」であるはずで、今一度、職員に問いかけてみて下さい。	職員の対応において不快な思いをさせたことにお詫び申し上げます。 市では、接遇をはじめ職員研修により「市民価値を高めることができる職員」の育成をしています。しかし、職員一人一人が常に意識していないとこうしたことが起きてしまいます。今一度、接遇の徹底を図り職員一同、最高の市民サービスができるよう取り組んでまいります。叱咤激励よろしく申し上げます。(企画部長)
鳳来北西部	24	防災無線放送について	広報について、 ・放送の時間帯は夏冬の時間変更は？ ・アナウンサーの音声がかたや低。小声はダメ。大は我慢できる。音量の最適化を望みます(マイクの位置)。	放送時間につきましては、定時放送を午後8時、葬儀放送を午後8時20分としています。この時間は、多くの方が就寝前で家にいる時間帯になり放送を聞いていただいておりますので、季節によって放送時間を変更することは考えてはおりません。 音量につきましては、早急に対応いたします。(企画部長)